

6月上旬
配本予定

『色物さん。寄席を彩るカッコいい人たち』

下積み時代の苦労話から、話芸が生まれる舞台裏、色物芸人さんの心得まで。
寄席を支え、つないでいく色物芸人さんの美学。

ねづっち、江戸家猫八、翁家社中、林家正楽、ナイツ、玉川太福ら 10組にインタビュー



取材・構成・文 奥野武範
四六判 288 ページ
ブックデザイン：大原次郎
2026年6月1日発行

「色物さん」とは、漫談、太神楽、紙切り、奇術、音曲、物まね……。寄席で落語や講談の合間に飛び出してくる、十人十色の芸人さんたちのこと。寄席では、名前が朱字で書かれていたから「色物さん」と呼ばれているとの説があります。本書は、ほぼ日奥野武範さんによる「色物さん」へのインタビュー集。2020年コロナ禍に、盆暮正月関係なしに営業してきた寄席ですら休業を余儀なくされた中で、寄席の応援として、これまであまりフォーカスされてこなかった「色物さん」へのインタビューを行った連載をまとめたものです。

ブックデザインは、大原次郎さん。実験的でありながらも視覚的インパクトの強いオリジナルのタイポグラフィーで国内外から注目されています。大原さんが「新しい寄席文字」を創作してくださいました。

【登場する色物さん】

ねづっち（漫談）、江戸家猫八（動物ものまね）、翁家社中（太神楽）
小林のりー（俳優・遊芸人）、東京太・ゆめ子（漫才）、松廼家八好（幫間）
布目英一（横浜にぎわい座館長）、林家正楽（紙切り）、ナイツ（漫才）
玉川太福（浪曲・単行本化に際してのインタビュー）

奥野武範プロフィール

編集者。1976年群馬県生まれ。早稲田大学卒業。ウェブサイト「ほぼ日」編集部。宝島 VOW 三代目総本部長を兼務。企画・構成・文を担当した書籍に『インタビューというより、おしゃべり』（星海社）『世界を見に行く』（リトルモア）『レ・ロマネスク TOBI のひどい目。』（青幻舎）『編集とは何か。』（星海社新書）『バンド論』（青幻舎）『常設展へ行こう！』（左右社）『挑む人たち』（リトルモア）など。



▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX:03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com
tel: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

<p>書店印（番線印）</p>	<p>新刊 888 (ハチミツ) ブックス</p>	<p>mail: 888books.art@gmail.com 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人</p>
<p>ご担当： 様</p>	<p>ご注文数</p> <p>色物さん。寄席を彩るカッコいい人たち 取材・構成・文 奥野武範</p> <p>価格：2,000円＋税 ISBN978-4-908439-35-3 C0073</p>	<p>冊</p>